

県病ニュース秋号

【理念】奉仕・信頼・進歩 当院は敷地内全面禁煙です。

『医師の働き方改革について』



院長 井上 敏郎
いのうえ しろ

国民の働き方について本年4月に改正法令が施行され、医師の働き方については5年後の4月に本格的に実施されることになりました。国中で働き方改革が叫ばれるようになった背景には、時間外労働の実態が放置できない職場や、職種が一部にあり、また少子化、高齢化が急速に進む我が国では産業活動を維持するために全ての職種の生産性を向上させなければならず、さらには休暇取得増にともなう消費行動によって内需を拡大させることが不可欠だと政府が判断したためではないか

と思います。

医療は24時間、365日休むことなく提供されるのが当たり前前で、これまで多くの部分で個々の医師の自主的な献身的精神と犠牲の上に成り立ってきました。しかしながら、勤務医も労働者であるということもまた事実です。医師が精神的にも肉体的にも健康を保ちながら医療を提供するのが本来の姿です。このことがなかなか改善できない背景には、医師を養成するにはかなりの年月を要すること、医師に、自身が専攻する診療科を自由に選択する権利があるので、診療科による医師数の偏在が起ること、医師が都市部に集中し地域によって医師数が大きく偏在すること等が影響しているとされています。そこで政府は地域ごと

に診療科ごとの適正な医師数を割り出し、適正な機能別病床数とマッチさせて過不足のない効率的な医療体制を構築し、同時に医師の過重労働も是正しようという試みを始めています。

今後、病院は医師の働く時間を自己研鑽と労働に区別して正確に把握すること、医師の勤務が、定められた1カ月間、1年間の労働時間上限、連続勤務時間上限を超えないようにすること、勤務時間の間隔を守ることを実行していかねければなりません。

大分県立病院では昨年10月から患者の皆さんに、可能な範囲で医師による病状説明を平日時間内に受けていただきたいということを願っています。これは患者の皆さんへ医師の働き方改革へのご協

力をお願いする第一歩という観点から始めさせていただきました。当院ではこれまで以上に安定した医師確保に努めることに加えて今後、一人の主治医が何時も全て一人の患者さんを担当するのではなく、診療科医師チームが全体として患者さんを担当する複数主治医制や他職種で医師の業務を分け合って支え合うなどのワークシフティング、シェアリングを工夫すること等が必要となつて行くと考えています。

大分県立病院は今後とも安心、安全な医療を安定して提供し続ける役割を果たして行く所存ですので患者の皆様にはどうか一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



放射線科部長ご挨拶



放射線科
部長
おか
田 だ
文 ふ
み

と人

本年4月に赴任いたしました岡田と申します。県立病院放射線科

は、昨年度までの4人体制から7人の専門医師による診療体制が整いました。画像診断（CT、MRI、超音波検査）、放射線治療（大分が一番の高精度放射線治療件数）、そして



カテーテル治療（外傷から脳血管内治療までの最先端医療）を行うプロのチームです。他の施設から羨ましがられるメンバー

が揃いました。

昨今、放射線科医が作成した画像報告書を主治医が見ていなかったため、がんが見逃されたというニュースをよく耳にします。私たちの県立病院では、7月から主治医の未読に対する対策も始まりまして、より安心して検査を受けていただくことができると思います。

また、一流の看護師および一流の放射線技師と協力して、副作用がないように、できるだけ放射線被ばくが少ないように、毎日患者さん向き合っています。そして私たちは患者さんを家族だと思つて診断・治療を行つていきます。もし、お困りのことがございましたら、是非、県立病院での検査・治療をご検討ください。

県民の皆様には満足していただける最善の医療を目指して、毎日頑張っています。

整形外科部長ご挨拶



整形外科
部長
つとむ
努

ひがし
東

2019年4月1日に大分県立病院整形外科部長に着任いたしました東努と申します。

出身は鹿児島県で、平成9年に大分医科大学を卒業して大分大学整形外科学教室に入局しました。

その後、関連病院や大学病院で研修し、大分県立病院に着任する前はアルメイダ病院に11年ほど勤務していました。

整形外科疾患の中で何が得意というわけではありませんが、腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニア、頰椎症性脊髄症といった脊椎疾患、変形性膝関節症、変形性股

関節症といった関節疾患、骨折、筋・腱損傷といった外傷疾患など広く対応してきました。前任の山田健治先生は小児整形を得意にされていましたが、私は経験不足のため、大学病院から月に2回、小児整形の専門医を派遣してもらつて対応しています。

6月までは整形外科常勤医4人体制でしたが、7月からは5人体制となり、これまで以上に変性疾患、外傷などへの対応が可能となりました。

大分県の整形外科診療に少しでも貢献できるように頑張りますので今後もしよろしくお願ひ申し上げます。

小児外科部長のご挨拶



小児外科部長
すみげんしろう
角元史郎
え江

最新の腹腔鏡による鼠径ヘルニア手術を導入し、2019年8月には男児女児あわせて症例数900症例に到達しました。

2019年4月から小児外科部長として着任致しました、江角元史郎と申します。27年間勤務した前任の飯田部長からの引き継ぎとなります。

大分県立病院小児外科は、県立病院が高砂町から現在の豊饒に移転した直後に開設されました。新生児から15歳までの主に腹部の手術が必要なお子さんを対象として診療を行っており、現在では年間300症例を超える手術を行う大分県下でも有数の小児外科診療科となっています。最も症例数が多い小児鼠径ヘルニアの手術においては、2007年よ

り最新の腹腔鏡による鼠径ヘルニア手術を導入し、2019年8月には男児女児あわせて症例数900症例に到達しました。

また数千人に1人という希少疾患の手術も数多く行っており、腸閉鎖症、腸蠕動不全疾患などの、出生後すぐに緊急手術が必要になる疾患もあるため、予定手術だけでなく、緊急手術まで幅広く対応しています。

通院されているお子さんたち、これから受診することになるお子さんたちが、病気や病状について悩まされることなく普通に生活できる、そんな小児外科医療を目指してまいります。

今後とも、よろしくお願い致します。



事務局長のご挨拶



病院局次長 兼
事務局長
にしながかずお夫
西永和

本年4月26日付けで現職に着任いたしました西永和夫と申します。初めての県立病院勤務となりますが、できる限り早く自分の任務を果たすことができよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、ご存じのとおり、当院は小児医療や周産期医療、がん医療、救命救急医療、災害医療など、多岐にわたる高度専門医療や政策医療を担い、県民医療の基幹病院としての役割を果たしています。今後は、さらに「精神医療センター（仮称）」の整備やゲノム医療など、新たな領域

にも挑戦していくこととしてまいります。

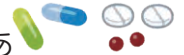
また、当院では県民の皆さんに信頼され、良質な医療を提供し続けられるよう、医師、看護師、薬剤師等のスタッフが緊密な連携のもと、日夜間わず適切な医療提供に努めるとともに、経営の健全化や効率化を進め、安定した経営基盤の構築にも取り組んでいます。

病院事務局は、総務経営課、会計管理課、医事・相談課などで構成され、病院運営を下支えする役割を担っています。今後とも、患者さんやそのご家族のことを第一に考えながら、職員一丸となって、県民一人ひとりに適切な医療を提供することができるよう病院づくりに努めてまいります。



オーソライズド・ジェネリックについて

前回の薬剤部だよりでは、「後発医薬品(ジェネリック医薬品)」についてご紹介しました。今回は、後発品メーカーが、先発品メーカーの許諾(オーソライズ)を受けて製造販売するジェネリック医薬品、「オーソライズド・ジェネリック(以下、AG)」について紹介します。



AGは一般的に、有効成分だけでなく、原薬、添加物、製法等が先発品と同一である後発品と言われています。また、AGの中にも様々なパターンがあります(下表)。



	有効成分	原薬	添加物	製法	製造所	効能効果
一般的な後発品(例)	同じ	異なる	異なる	異なる	異なる	同じ ¹⁾
AG(例1)	同じ	同じ	同じ	同じ	異なる	同じ ²⁾
AG(例2)	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ	同じ ²⁾

1)再審査・用途特許対象の適応症を除く 2)再審査対象の適応症を除く

AGはジェネリック医薬品同様、開発コストがあまりかからないため、先発医薬品に比べて薬価が安くなっています。ただ、すべての医薬品にAGがあるわけではなく、また、医薬品名から、そのものがAGかどうかはわかりません。当院も、一部医薬品にAGを採用しています。ご不明な点があれば、1階薬剤部窓口にお声をおかけください。

(薬剤部 薬剤師 田中 幸代)



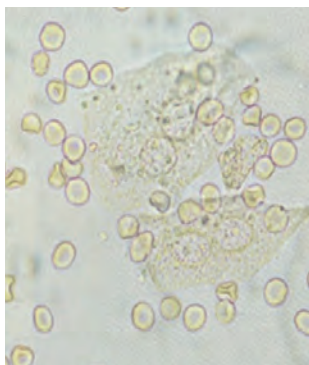
尿を顕微鏡で見ると、何が見えるの？

試験管の底に尿中の成分を集めて、顕微鏡でみることを尿沈渣(ようちんさ)といいます。

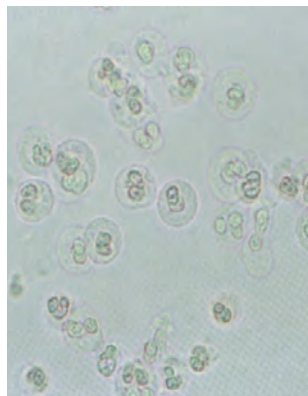
自然に剥がれ落ちた膀胱表面の尿路上皮細胞のほか、赤血球、白血球、細菌や結晶物などを見ることができ、それぞれの数を数えます。

尿沈渣は、尿に蛋白が出ていたり出血があったりした場合にその原因を推し測ることができるツールです。

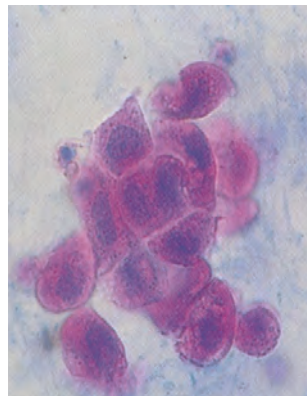
膀胱炎などの尿路感染症や腎炎の診断や経過観察にも役立ちます。



赤血球と
尿路(移行)上皮細胞



白血球



尿路上皮細胞



尿酸結晶



放射線技術部だより

医療で使われている放射線の安全管理を一層推進します！

2011年3月に起こった東日本大震災による原発事故以来、放射線被ばくによる影響に関心を持つ方が増えました。それに伴い医療放射線による被ばくにも関心が高まっています。

そのような中で2019年3月の『医療法令改正』により、病院で行なわれている一部の放射線検査に医療被ばくの線量管理・線量記録をするように義務づけられました。

放射線技術部では、2020年4月からの法令適用に向けて『線量管理システムの導入』をするなど様々な準備を進めています。

これを機に、医療で使われている放射線の安全管理をより一層推進していきます。



《医療放射線に係る安全管理(今回の医療法令改正によって加わった内容)》

- 責任者の配置
- 指針の策定
- 職員研修の実施
- 医療被ばくの線量管理
- 医療被ばくの線量記録

(放射線技術部 専門診療放射線技師 御手洗 徹)



看護部だより

緩和ケアセンターが2019年9月に設置されました。

医師や社会福祉士の他、がんに関する専門的な資格を有する看護師が3名配属され、これまで以上にがんの患者さんやご家族の、お悩みや気がりへ対応できる体制となりました。

チームメンバーが協力して、がんになった時から体や気持ちのつらさを和らげるサポートを行っています。

また、10月からは、緩和ケアセンターの役割の一つである相談体制の充実を目指して、「がん看護外来」を開設しています。

ぜひご活用ください。



●がん看護外来とは

患者さんやご家族が病気や治療について理解を深め、納得のいく選択ができるようにがんの専門知識をもった専門看護師、認定看護師が主治医と連携し支援します。

* 平日の月～金に予約制で行っています。

* 主治医または外来看護師へご相談ください。

(緩和ケアセンター 看護師長 小畑 絹代)



「食欲がない時のひと工夫」シリーズ<その3>

～ 食事+栄養補助食品で低栄養を予防しよう～



手術後や体調が優れないとき、「食べなきゃいけない!」と分かっているけど、思うように食事がとれないことはありませんか? そんな場合は、栄養補助食品を利用してはいかがでしょうか。

栄養補助食品＝少量で栄養補給ができる食品!

低栄養を予防したり、手術の傷を治すためにはしっかりと栄養補給をすることが大切です。栄養補助食品は少量でエネルギーやたんぱく質、ビタミン、ミネラルなどを補充することができます。ジュースやゼリー、アイスなど、様々な形態があり、1個(本)当たり150～200kcal(ご飯軽く1杯分)程度のもので多いですが、中には50mlで200kcalを補充できるものもあります。栄養補助食品はドラッグストアやスーパー、ネットで購入することができます。味の種類も豊富なため、自分に合うものを探しましょう。



食べるタイミング

栄養補助食品はあくまで食事の補助です。おやつの時間など、食事と食事の間に食べると良いでしょう。

(栄養管理部 管理栄養士 中山 優紀)

大分県立病院のWEBサイトから二次検診(胃カメラ)の予約ができます。



WEBから申込をして予約されると、到着後すぐに受付、問診を専任の看護師が行い、内視鏡室へご案内します。医師による検査の説明のあと、検査、結果等の説明まで内視鏡室で行います。その後は会計を済ませてお帰りいただけます。【※1日1人まで】



■Step1
健康診断で要精密検査と判定され、医療機関あての精密検査依頼文書(紹介状)を受け取った。



■Step2
県病WEBサイトから受診申込
☆希望日を第3希望まで指定してください。



■Step3
E-mailで受診日決定通知受信
☆予約できない場合はメールで連絡があります。



■Step4
前日21時以降絶食で来院
☆WEBで注意事項を確認してください。



県立病院1階 総合案内へ

①保険証の内容を確認



②紹介状確認問診



内視鏡室にて行います。



⑧帰宅



⑦お会計



⑥次回受診などの説明



⑤結果説明



④検査

*車を運転して帰宅する場合は、眠り薬(鎮静剤)は使用できません。



③問診・同意書の説明

患者総合支援センターのご案内

【患者総合支援センター】ってどんなところ？

患者総合支援センターでは、患者さんやそのご家族の療養上の不安や悩みに対応する相談窓口を一元化し、また入院前から退院後の生活までを見通して、患者さんが地域の中で安心して在宅療養生活を送っていただけるように、センター職員一丸となって支援を行います。

当センターにお越しいただければ、安心・満足いただけるように、各職種が連携し、迅速かつ丁寧に対応いたします。

当センターの職員

専任の看護師
事務職員
医療ソーシャルワーカー
医療相談員
薬剤師・栄養士
などが対応します。



患者総合支援センター



コンシェルジュが
ご案内します。



入退院説明 入院受付

- ・入院生活について
- ・退院に向けた生活環境の整備、療養支援

各種相談

<がん相談支援センター>

- ・がんなどの病気に関する相談、情報提供
- ・セカンドオピニオン
- ・仕事と治療の両立支援

<医療福祉相談>

- ・経済的な心配
- ・療養上の生活のこと
- ・社会保障制度について
- ・介護、福祉に関すること

地域医療連携室

- ・他の医療機関からの紹介
- ・ケアマネジャー、訪問看護師との連絡
- ・退院、転院の相談と支援
- ・他の医療機関への紹介



外来診療一覽表

注) 診療日が変更になる場合もありますので、予めご了承ください。
(令和元年10月1日現在)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
循環器内科		○	○	紹介のみ	○	○
内分泌・代謝内科		○	○	○	○	○
消化器内科		○	○	○	○	○
腎臓内科		休診	○	休診	○	休診
膠原病・リウマチ内科		○	休診	○	○	○
呼吸器内科	新患 再来	○	急患のみ ○	○	○	○
呼吸器腫瘍内科		○	休診	○	休診	○
血液内科		○	○	○	○	○
神経内科		○	○	○	○	○
外科	消化器 乳腺	○	○	○	○	○
脳神経外科		手術日 休診	○	○	○	手術日 休診
呼吸器外科		手術日 休診	○	手術日 休診	○	○
心臓血管外科		○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
整形外科		○	○	手術日 休診	○	○
形成外科		休診	手術日 休診	○	○	休診
眼科		○	手術日 予約のみ	○	手術日 予約のみ	○

診療科	曜日	月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科		○	○	手術日 休診	○	手術日 休診
婦人科	新患 再来	○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
産科		○	○	○	○	○
小児科		○	○	○	○	○
新生児科		○	○	○	○	○
小児外科		○	○	○	手術日 休診	○
内視鏡科	消化管 気管支	○ 休診	○	○ 休診	○	○ 休診
皮膚科		○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
泌尿器科	新患 再来	○	○ 手術日 休診	○	○ 手術日 休診	○
精神神経科		○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制
緩和ケア外来		○ 15時から	休診	休診	休診	休診
放射線科		○	○	○	○	○
歯科口腔外科		○	○ 予約のみ	○	○ 予約のみ	○
外来化学療法室		○	○	○	○	○
診療科の判断が 困難な場合の 担当診療科		消化器 内科	1・3・5週 内分泌・ 代謝内科	呼吸器 内科	神経 内科	血液 内科

アクセス

オアシスひろば ● 中央通り1番のりば ● 県庁 ● 大分駅前4番のりば ● 大分IC ● 大分駅 ● 豊府小 ● 豊府中 ● 豊府高 ● 府内大橋 ● 光吉IC ● 至野田・佐伯

JR: 大分駅からタクシーで約15分または南大分駅からタクシーで約8分
バス: 大分駅前バス停からバス・徒歩を含めて約25分(大分市内中心部から約25分間隔で運行)
駐車場: 有料駐車場(約400台)完備(1時間まで無料)

受付時間 午前8時～午前11時

救急患者は24時間受入

紹介による受診に関する事は…
地域医療連携室
平日(土・日・祝日除く)
午前8時15分～午後5時(受付は11時まで)
TEL 097-546-7129
FAX 097-546-7368

診療開始時間 午前8時30分

休診日 土・日・祝日・年末年始
(12月29日～1月3日)

療養中の心配事や不安などは…
患者総合支援センター
平日(土・日・祝日除く)
午前8時30分～午後5時
TEL 097-546-7125

Oita Prefectural Hospital
大分県立病院

〒870-8511 大分市大字豊饒476番地

TEL 097-546-7111～2(代表) FAX 097-546-0725 総務経営課広報係 2710(内線)
E-mail a80200@pref.oita.lg.jp ホームページ <https://www.oitapref-hosp.jp/>

※当ニュースへのご意見・ご感想は1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

